

2023年7月5日 香川征・県立病院CS向上推進事業 活動報告会

海部病院認定看護師による 海部地域支援プロジェクト

～めざせ！住民の健康寿命延伸～

活動報告

徳島県立海部病院 CS向上委員会

影治照喜、勝頼昌代

第1回 香川 征 賞 受賞

海部病院 地域支援プロジェクト

「医療と介護の隙間」の縮小のために



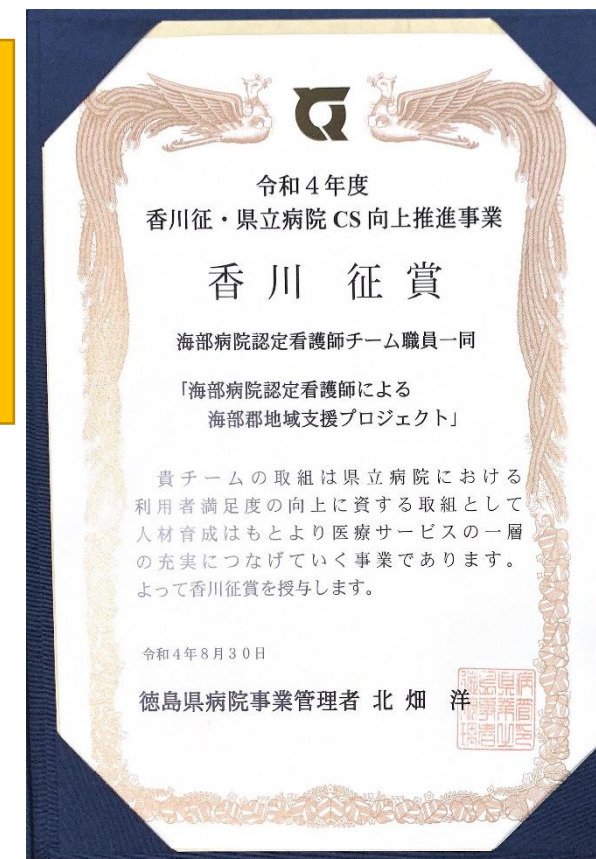
- 全体活動：施設・行政ケアスタッフにウェブ研修会や直接指導
- 個別活動：患者居宅や施設を訪問し個別指導

香川征・県立病院CS向上推進事業

前管理者の香川征先生のご遺族からの寄付金を元に、県立病院患者サービス向上のための取り組みを支援するものです。

県立病院基本理念

県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる。



海部病院基本理念

地域に寄り添い愛される病院になる。



目的



海部病院認定看護師（摂食嚥下・認知症・糖尿病・感染）を中心とした医療看護チームが、**地域活動**を行うことで、

ミッション1

地域の医療・福祉・介護職員と知識・技術を共有し、**医療と介護の質の向上**を目指す。

ミッション2

疾病の**重症化予防**をはかり、**健康寿命の延伸**に寄与する。

対 象



- 海部郡内の保健師、看護師、ケアマネージャー、介護士、ヘルパー（以下ケアスタッフとする）
- 海部郡内で居宅・施設で療養している患者とその家族

方 法

【全体活動】

認定看護師等専門職による**研修会の開催**

- 海部郡内の医療機関、施設、行政、介護職員を対象
- 施設訪問、Web講演会、Youtube作成

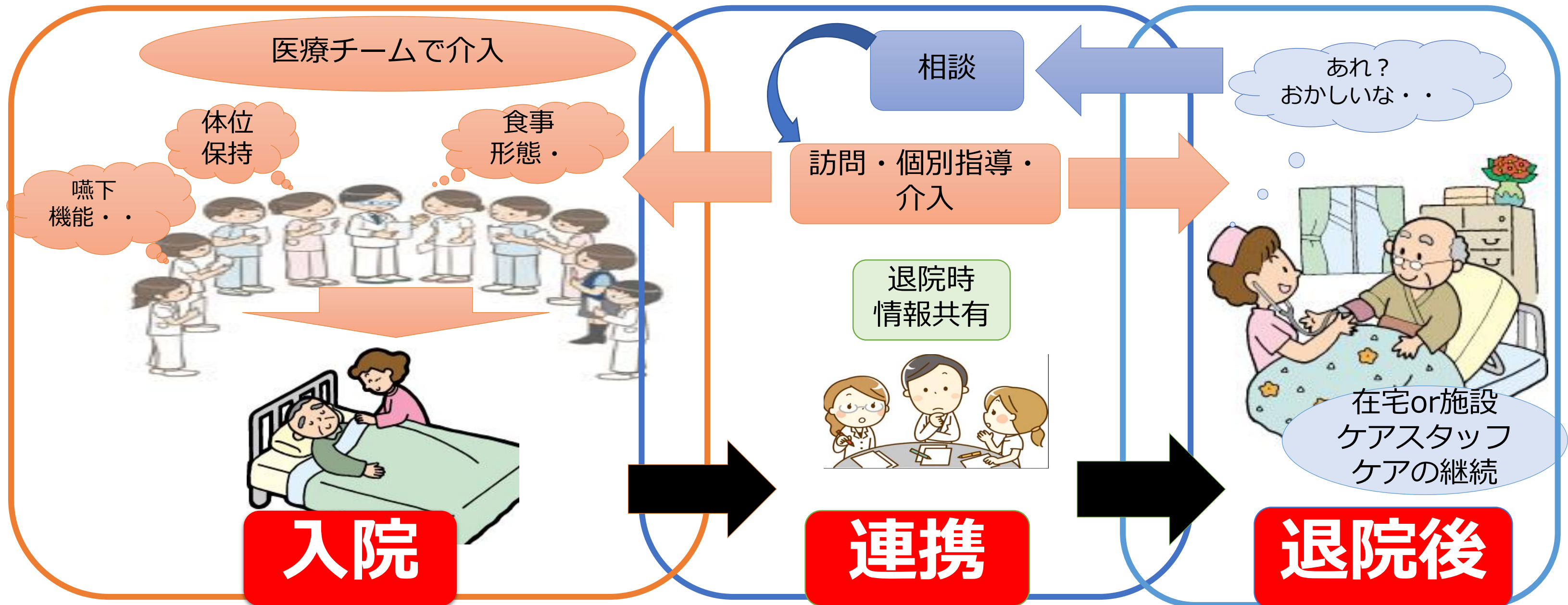


地域のケアスタッフが共に学び、
知識・スキルを獲得！
協働→医療介護の質向上

方法

【患者個別活動】

海部病院に入院した患者で、退院後も継続的なケアが必要な患者を選択



実績報告 **全体活動**

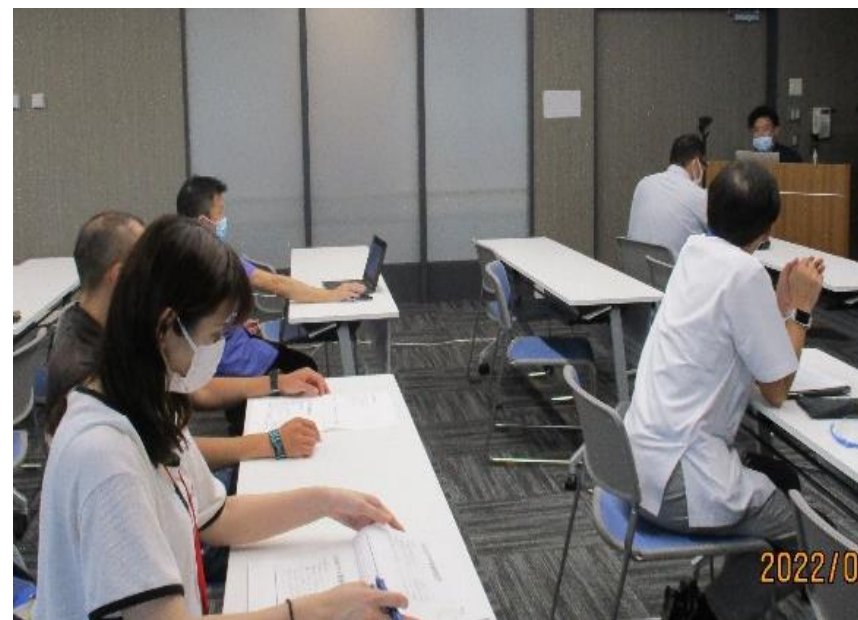


実施期間 令和4年9月1日～令和5年2月28日

ミッション1

地域の医療・福祉・介護職員と知識・技術を共有し、医療と介護の質向上を目指す

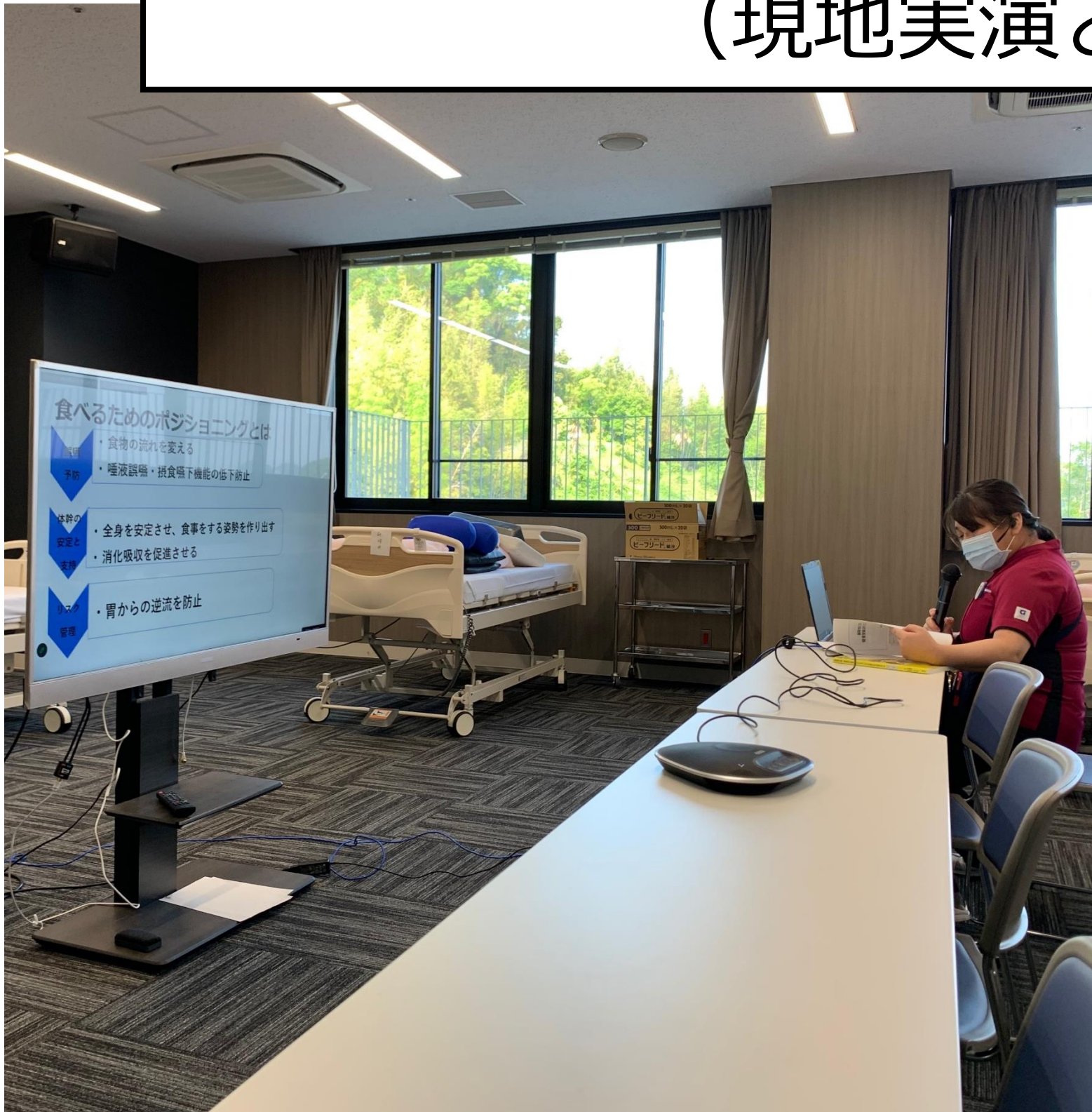
- 1) 研修方法：Web及びハイブリット形式、時に「施設訪問」を実施
- 2) 開催回数：5回 毎回24～25施設が参加



参加者 (26)		
検索		
尾	尾崎美紀	参加
徳	徳島県立海部病院	参加
東	東洋町包括	参加
森本	森本加奈子	参加
海	海部郡医師会 松田啓次	参加
海	海陽町 松原	参加
海	海陽町社協	参加
海	海陽町福祉人権課	参加
牟岐	牟岐町地域包括	参加
白	白川光雄	参加
竹	竹林優	参加
緑	緑風会イントロセンター海部	参加
美	美波町包括	参加
美波	美波病院 美波町	参加
訪	訪問看護ST阿南	参加
邦	邦彦 小柴	参加

摂食・嚥下の研修会 ポジショニングについて

(現地実演とwebで配信)



摂食・嚥下の研修会 ポジショニングについて

(現地実演とwebで配信)

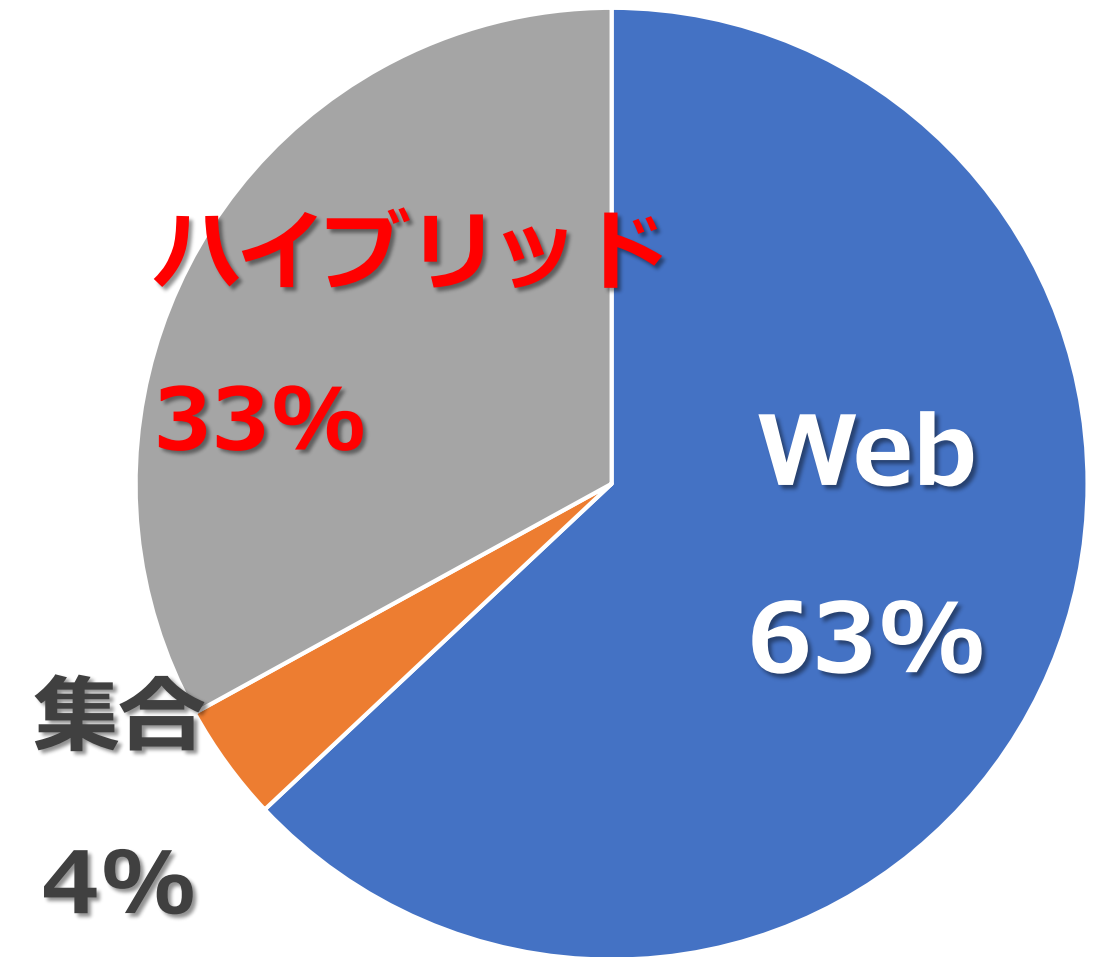
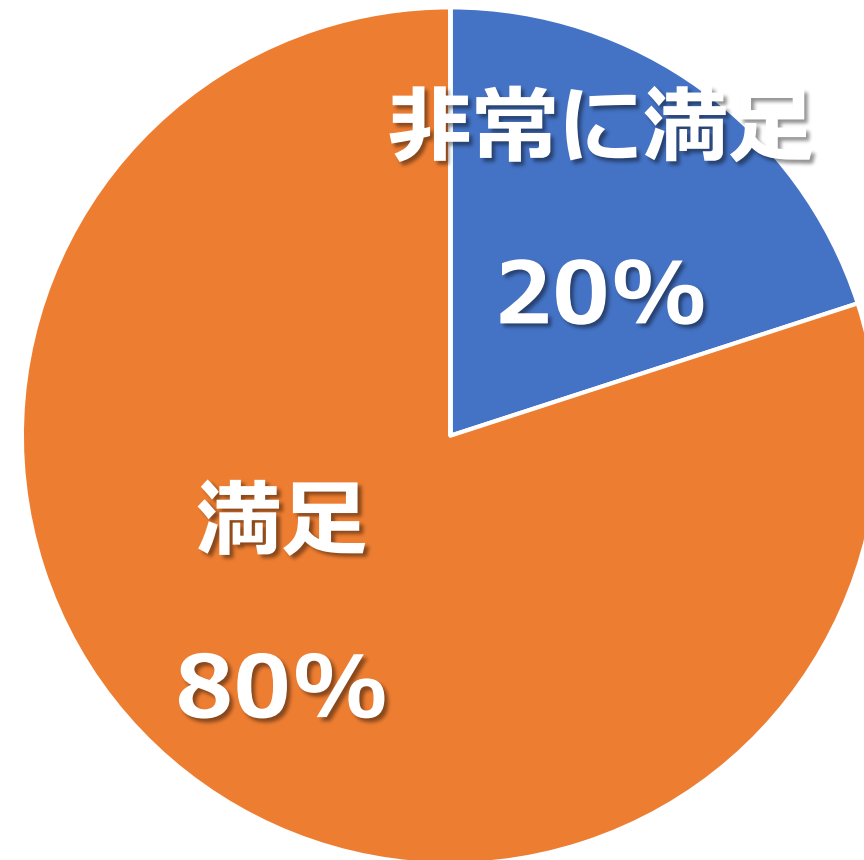


実績報告

全体活動

希望する研修方法

研修内容について



意見

- いろいろな分野の話が聞ける
- 基礎から丁寧に説明してくれるのでよくわかる
- **仕事場から受講出来るので良い**
- 時間外に開催する方が受講しやすい



実績報告

個別活動（施設訪問）

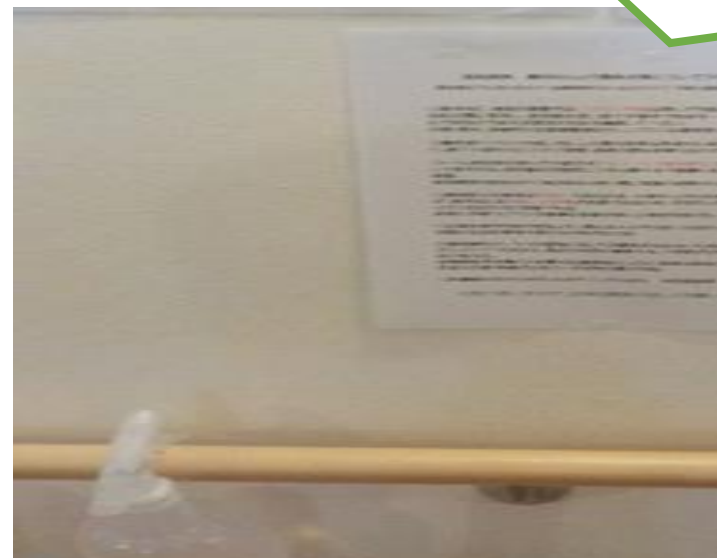
ミッション2 疾病の重症化予防をはかり、健康寿命の延伸に寄与。

施設支援 5回実施

感染管理：2施設 各2回、摂食嚥下：1施設 1回

認定看護師が近隣施設に出向いていき、各分野でケアスタッフに直接指導した。

アドバイスした内容や、提供した
個人防護具の着脱方法を掲示。
職員間で情報を共有。
訪問後、新規感染者の発生なく収束。



施設の状況に合わせて
実践可能な指導ができました



実績報告

個別活動（居宅訪問）



ミッション2 疾病の重症化予防をはかり、健康寿命の延伸に寄与。

居宅へ訪問・指導 2回（摂食嚥下、認知症ケアチーム各1回）

- 高次機能病院から転院してくる際は口から食べることを諦めていた。
- 病院と同じケアを在宅でも継続することで、誤嚥性肺炎を起こすことなく食べられている。
- チームで食事形態を検討し、食べられるものが増え「食べたい」と意志表示するようになった。食べることは本人・家族の「希望」に繋がっている。

実績報告

個別活動（居宅・家族会訪問）

ミッション2 疾病の重症化予防をはかり、健康寿命の延伸に寄与。

■認知症患者の自宅退院時に訪問。

環境アセスメントを行い、生活上の問題について相談を受ける。
生活の場に応じた相談ができ安心できた。

■オレンジ認知症家族会への参加 2回

- ・全体研修 ミニレクチャー
- ・家族向け個別相談

家族やケアマネからの相談を受けることで
認知症看護相談に繋がる
患者への対応について理解が深まる
家族支援ができた



今後の課題

地域医療の質のさらなる向上のために

「現場を知り、その実情に合わせた指導」が重要

- 院内業務との調整
- 人材育成（リンクナースなど）
- 購入機材活用
- eラーニングの導入
時間とらわれず研修できる機会を提供



海部病院地域支援プロジェクトチーム

医療局 影治照喜 副院長、細木美苗 医師

看護局 勝瀬昌代 看護局長

藤田洋子（感染）、原早苗（糖尿病）

斉藤誠（認知症ケア）、天羽香織（摂食嚥下）

医療技術局 迎保志 医療技術局次長

地域支援室 花岡賀美 看護師長

伊丹加奈子（訪問看護）

有馬信夫・丸山真由（MSW）

リハビリ 湯上美里ST

認知症ケアチーム



感染、糖尿病、摂食嚥下チーム



感染、糖尿病、摂食嚥下チーム



地域包括ケアシステム支援

理念

キャッチコピー

救急医療

急性期・
回復期医療

在宅医療

遠隔医療

人材育成

災害医療

地域に寄り添い
愛される病院
になる

チームで
あなたを全力
サポート

ご清聴ありがとうございました



県立病院基本理念

県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる

